

令和6年度の代替輸送訓練・ワークショップの概要

令和7年2月7日

北陸地域国際物流戦略チーム事務局

【目次】

1. 代替輸送訓練・ワークショップの振り返り
2. 代替輸送訓練・ワークショップの概要
 - 2.1 令和6年度の代替輸送訓練・ワークショップ開催概要①
 - 2.2 令和6年度の代替輸送訓練・ワークショップ開催概要②
 - 2.3 令和6年度の代替輸送訓練・ワークショップ開催概要③
 - 2.4 外貿代替輸送訓練・ワークショップの実施内容
 - 2.5 内航代替輸送訓練・ワークショップの実施内容

1. 代替輸送訓練・ワークショップの振り返り

1. 代替輸送訓練・ワークショップの振り返り

(1) 代替輸送訓練・ワークショップの経緯

- ・ 東日本大震災時において、日本海側の港湾が太平洋側のバックアップ機能を果たしたことから、北陸地域の港湾が果たすべき役割や方策を検討することを目的として、「広域バックアップ専門部会」を平成24年12月に設置。
- ・ 同専門部会では「代替輸送モデルケース」、「代替輸送のための体制・役割の検討」、「代替輸送訓練の実施」及び「北陸地域の港湾物流情報を一元化するポータルサイトの開設」など、代替輸送を円滑に行うために必要な方策を検討。
- ・ 平成25年度から継続して代替輸送訓練を実施するとともに、代替輸送手引書の策定及び改訂を実施。
- ・ 「太平洋側大規模災害時における北陸地域港湾による代替輸送基本行動計画」を策定（H29.1.13公表）。

(2) 代替輸送訓練・ワークショップの目的

- ・ 荷主企業及び物流の供給者に代替輸送の必要性和BCPの記載内容や訓練参加の有効性を確認するとともに、既存ルートが使用できない場合において事業の継続を確実にするため、代替輸送訓練・ワークショップを実施する。

(3) 代替輸送訓練・ワークショップの実施状況

- ・ 平成25年度から令和元年度までは対面方式で首都直下地震及び南海トラフ巨大地震に対応した代替輸送訓練・ワークショップを実施した。
- ・ 令和2年度からは新型コロナウイルス感染拡大を考慮して、オンライン形式による代替輸送訓練・ワークショップを実施していたが、今年度は4年ぶりに対面形式による代替輸送訓練・ワークショップを実施した。
- ・ 今年度の代替輸送訓練・ワークショップでは、“物流BCPの重要性”に力点を置き、代替輸送に関するロールプレイング訓練に加えて、ワークショップ形式で大規模災害や物流2024年問題をはじめとした様々な事象への対応について検討・議論する機会を設けた。

2. 代替輸送訓練・ワークショップの概要

2.1 令和6年度の代替輸送訓練・ワークショップ開催概要①

今年度の代替輸送訓練・ワークショップは令和6年11月20日、21日の2日間開催し、計35名が参加した。

	大規模地震に対応した日本海側港湾への外資コンテナ代替輸送訓練・ワークショップ	大規模災害・物流2024年問題等に対応した内航フェリー・RORO船を活用した日本海側港湾への代替輸送訓練・ワークショップ
開催日時	令和6年11月20日(水)13:00～17:00	令和6年11月21日(木)13:00～17:00
場所	大宮ソニックシティ 第1展示場（埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5）	
参加人数	19名 【業種内訳】 物流・倉庫業:12名、製造業:3名、 官公庁:2名、商社:1名、サービス業:1名	16名 【業種内訳】 物流・倉庫業:6名、サービス業:3名、 官公庁:3名、製造業:2名、小売・卸売業:2名
グループ構成	5名で1グループとし、 4グループを設置	5名～6名で1グループとし、 3グループを設置
訓練の形式	対面式机上訓練(ロールプレイング訓練、ワークショップ)	

以降、以下のとおり略称する。

■大規模地震に対応した日本海側港湾への外資コンテナ代替輸送訓練・ワークショップ

⇒外資代替輸送訓練・ワークショップ

■大規模災害・物流2024年問題等に対応した内航フェリー・RORO船を活用した日本海側港湾への代替輸送訓練・ワークショップ

⇒内航代替輸送訓練・ワークショップ

2.2 令和6年度の代替輸送訓練・ワークショップ開催概要②

	外貨代替輸送訓練・ワークショップ	内航代替輸送訓練・ワークショップ
プログラム	13:00 ～ 13:05 開会挨拶 13:05 ～ 13:20 概要説明 ■第一部 代替輸送訓練 13:20 ～ 14:55 代替輸送訓練に関する ロールプレイング訓練 ■第二部 ワークショップ 14:55 ～ 15:50 ① 代替輸送手引書についての討議 15:50 ～ 16:45 ② 物流BCPの方向性についての討議 16:45 ～ 16:50 全体講評 16:50 ～ 16:55 内閣府からのご案内 16:55 ～ 17:00 閉会挨拶	13:00 ～ 13:05 開会挨拶 13:05 ～ 13:15 概要説明 ■第一部 導入 ワークショップ 13:15 ～ 13:05 意見交換 各社の国内輸送に関する 物流BCP の現状認識 ■第二部 代替輸送訓練 13:55 ～ 15:25 模擬会社を想定した事業継続対応の ロールプレイング訓練 ■第三部 振り返り ワークショップ 15:25 ～ 16:45 物流BCPの方向性についての討議 ① 豪雨や台風の場合はどのような違いがあるか ② 物流2024年問題を踏まえたBCPのあり方について ③ 企業BCPに加えるべきさらなる視点 16:45 ～ 16:50 全体講評 16:50 ～ 16:55 内閣府からのご案内 16:55 ～ 17:00 閉会挨拶
	共催：内閣府、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県 後援：京都府、埼玉県、岐阜商工会議所、東京商工会議所、名古屋商工会議所、一般社団法人埼玉県経営者協会、公益財団法人埼玉県産業振興公社、北陸経済連合会、新潟県商工会議所連合会、長野県商工会議所連合会、日本経済団体連合会、日本物流団体連合会（順不同）	共催：内閣府、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県 後援：京都府、埼玉県、岐阜商工会議所、東京商工会議所、名古屋商工会議所、(一社)埼玉県経営者協会、(公財)埼玉県産業振興公社、北陸経済連合会、新潟県商工会議所連合会、長野県商工会議所連合会、近海郵船(株)、新日本海フェリー(株)、日本経済団体連合会、日本物流団体連合会（順不同）

2.3 令和6年度の代替輸送訓練・ワークショップ開催概要③

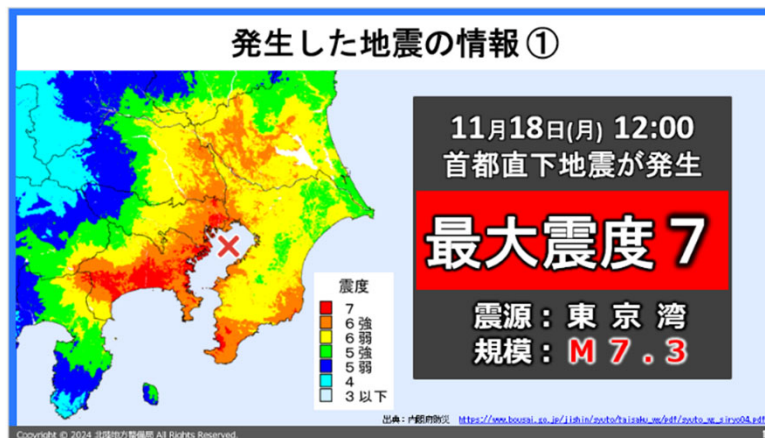
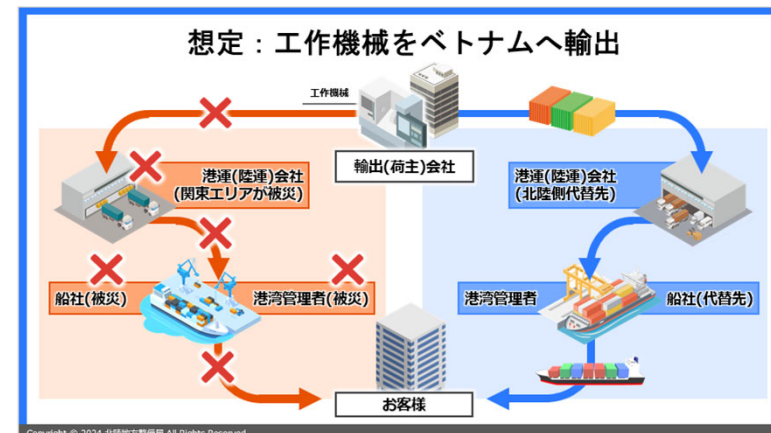
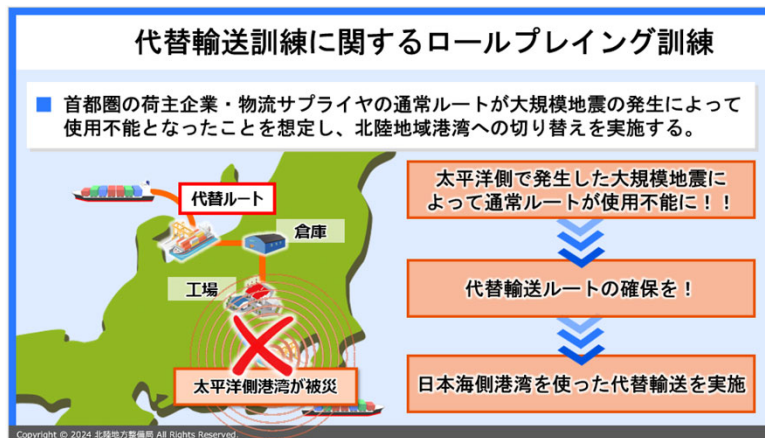
それぞれの訓練の目的に応じて、下記のように設定した。

	外貨代替輸送訓練・ワークショップ	内航代替輸送訓練・ワークショップ
訓練	◆初動対応：なし	◆初動対応：あり
	◆代替輸送訓練： 発災後3日目の状況から開始	◆代替輸送訓練： 発災直後の対応から開始
	◆シナリオ ・代替輸送への切り替え判断 ・代替輸送における課題への対応 ・平常時には発生しない問題への対応	◆シナリオ ・あり得る代替手段の検討 ・取引先との連携の重要性 ・代替輸送実施時の課題検討
ワーク ショップ	①代替輸送手引書の改善点についての 討議	①参加者の所属企業(団体)の国内輸送に関する 物流BCPの現状共有
	②物流BCPの方向性についての討議 (1) 企業BCPにおける物流/サプライ チェーンの継続について感じている課題 とその解決策 (2) 今後、物流に特化したBCPではど のような要素を備えているべきか	②物流BCPの方向性についての討議 (1) 豪雨や台風発生時における地震対応との 違い (2) 物流2024年問題を踏まえたBCPのありかた (3) 企業BCPに加えるべき視点

2.4 外貿代替輸送訓練・ワークショップの実施内容

(1) 第一部 代替輸送に関するロールプレイング訓練

- 工作機械をベトナムに輸出する、埼玉県に本社を置く荷主企業における輸出業務が、大規模地震によって被災した太平洋側の港湾の代替として北陸側港湾を使用するための対応をテーマとした。
- 東京湾を震源とした首都直下地震(マグニチュード7.3、最大震度7)発生から3日目以降の状況に基づいたシナリオを使って訓練を実施した。



(3) 第三部 振り返り ワークショップ 物流BCPの方向性についての討議

- | | | |
|---|--|--|
| <p>意見交換①</p> <p>豪雨や台風の場合はどのような違いがあるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各グループ内で、下記の点について15分で話し合ってください。 ● 発表に備えて記録用紙を使って討議内容を記録してください。 <p>合計 15分</p> <p>(1) 先ほどは大規模地震が発生した場合の対応について検討したが、発生した事象が豪雨や台風である場合は、対応の内容に大規模地震とどのような違いがあるか</p> <p>(2) これまでにどのような対応をしてきたか、どのような課題があり、どのように解決を図ったか（見聞きした他社の事例でもよい）</p> | <p>意見交換②</p> <p>物流2024年問題を踏まえたBCPのあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各グループ内で、下記の点について20分で話し合ってください。 ● 発表に備えて記録用紙を使って討議内容を記録してください。 <p>合計 20分</p> <p>(1) 2024年問題について、自社ではどのように取り組んでいるか 5分</p> <p>(2) 2024年問題によってBCPにどのような影響があるか 5分</p> <p>(3) 有効な解決策としてどのような対応があり得るか 10分</p> | <p>意見交換③</p> <p>企業BCPに加えるべきさらなる視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各グループ内で、下記の点について15分で話し合ってください。 ● 発表に備えて記録用紙を使って討議内容を記録してください。 <p>15分</p> <p>(1) 企業のBCPにおいて、物流のBCP対応として加えておくべき事項とはどのようなものか。 5分
(自社にBCPがない場合は一般論として考えてください)</p> <p>(2) 現状ではどのような状況か、課題はあるか。 5分</p> <p>(3) 物流のBCPの位置づけとはどうあるべきか。
企業のBCPとは独立させるべきか？ 5分</p> |
|---|--|--|

